

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【公表番号】特表2014-510611(P2014-510611A)

【公表日】平成26年5月1日(2014.5.1)

【年通号数】公開・登録公報2014-022

【出願番号】特願2014-505329(P2014-505329)

【国際特許分類】

A 4 7 J 31/00 (2006.01)

A 4 7 J 31/44 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 31/00 B

A 4 7 J 31/44 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月7日(2015.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ばらけた材料の選択された量を分配するように作動可能なバルク材料分配装置(20)であって、

前記ばらけた材料が分配される容器の配置に適した容器位置を定め、前記容器位置の上方に配置された出口開口を備える外側筐体と、

前記ばらけた材料を保管する密封筐体(40)と、

前記外側筐体に取り付けられたユーザーインターフェース(81)と、

前記ユーザーインターフェース(81)を介して、分配されるばらけた材料の所望の量を特定する使用者選択肢を受け取る電子制御機器(80)と、

前記密封筐体(40)の下方かつ前記出口開口の上方に配置された測定機構(50)とを備え、

前記測定機構(50)は、

計量器(64)に取り付けられた箱(62)であって、前記箱(62)に現在収容される前記材料の重量を前記電子制御機器(80)に提供し、前記電子制御機器(80)による作動によって、前記箱(62)内に収容される前記材料を、前記出口開口を通じて放出する箱(62)と、

前記密封筐体(40)の内部と密封流体連通する入口、および、前記箱(62)内部へと材料を分配するように配置された出口を備える材料通路部(52)と、

前記電子制御機器(80)に接続されたモータ(57)によって動力を供給され、前記材料通路部(52)内に配置されて前記箱(62)に前記材料を制御可能に分配する回転可能ねじ(56)と、

前記回転可能ねじ(56)が作動していないときに前記材料通路部(52)の前記出口を機械的に密封するように適合された密封蓋(55)とを備えるバルク材料分配装置(20)。

【請求項2】

前記密封筐体(40)は密閉されて密封される、請求項1に記載のバルク材料分配装置(20)。

【請求項3】

前記材料通路部(52)は屈曲形状を有する、請求項1に記載のバルク材料分配装置(20)。

【請求項4】

前記電子制御機器(80)および前記測定機構(50)は、前記外側筐体の内部に配置される、請求項2に記載のバルク材料分配装置(20)。

【請求項5】

前記密封筐体(40)は、前記材料通路部(52)の作動の少なくとも一部の間に作動する攪拌機を備える、請求項4に記載のバルク材料分配装置(20)。

【請求項6】

前記ばらけた材料は茶葉である、請求項1に記載のバルク材料分配装置(20)。

【請求項7】

前記ユーザーインターフェース(81)は準備される茶の量を定める調整を可能とする、請求項6に記載のバルク材料分配装置(20)。

【請求項8】

前記ユーザーインターフェース(81)は、分配される茶の種類の利用者による選択を可能とし、かつ、2つの選択された茶の種類の各々と関連して準備される茶の選択された量のための2つの異なる重量を保存する、請求項7に記載のバルク材料分配装置(20)。

【請求項9】

ばらけた茶の利用者により選択された量を、分配装置(20)を用いて分配する方法であって、

前記分配装置(20)に配置されたユーザーインターフェース(81)を介して、茶の所望の量を特定する第1の利用者入力を受け取るステップと、

前記ユーザーインターフェース(81)を介して、茶の前記所望の量を所定の量だけ上方または下方に調整する第2の利用者入力を受け取るステップと、

計量器(64)に取り付けられた箱(62)を有する計量器(64)から重量を受け取るステップと、

前記計量器(64)から受け取られた前記重量が前記所望の量以上となるまで、密封コンテナ(40)から前記箱(62)へと茶を移動するステップと、

前記密封コンテナ(40)にある前記茶を外部の空気から密封するステップと、

前記箱(62)から前記分配装置(20)にある出口開口を通じて前記茶を分配するステップとを含む方法。

【請求項10】

前記第2の利用者入力は、より濃いまたはより薄い茶を提供する、請求項9に記載の方法。

【請求項11】

前記第2の利用者入力は、上方または下方へと望まれた茶の量を調整する、請求項9に記載の方法。

【請求項12】

前記移動するステップの後に前記密封コンテナ(40)を再び密封するステップをさらに含む、請求項9に記載の方法。

【請求項13】

ばらけた材料の選択された量を分配するように作動可能なバルク材料分配装置(20)であって、

前記ばらけた材料が分配される容器の配置に適した容器位置を定め、前記容器位置の上方に配置された出口開口を備える外側筐体と、

前記ばらけた材料を保管する筐体と、

前記外側筐体に取り付けられたユーザーインターフェース(81)と、

前記ユーザーインターフェース(81)を介して、分配されるばらけた材料の所望の量を特定する利用者選択肢を受け取る電子制御機器(80)と、

前記密封筐体(40)の下方かつ前記出口開口の上方に配置された測定機構(50)と

を備え、

前記測定機構(50)は、

計量器(64)に取り付けられた箱(62)であって、前記箱(62)に現在収容される前記材料の重量を前記電子制御機器(80)に提供し、前記電子制御機器(80)による作動によって、前記箱(62)内に収容される前記材料を、前記出口開口を通じて放出する箱(62)と、

前記筐体と流体連通し、前記電子制御機器(80)によって作動されたときに、ばらけた材料を前記筐体から分配するように適合された制御出口(52)と、

前記電子制御機器(80)に接続されたモータ(57)によって動力を供給され、前記制御出口(52)の下方に取り付けられており、前記制御出口(52)からばらけた材料を受け入れ、かつ、前記材料を前記箱(62)に分配するように構成されたコンベヤ(253)とを備え、

前記コンベヤ(253)が使用されていないときに、前記制御出口は、シール(255)によって機械的に密封されるように適合されたバルク材料分配装置(20)。

【請求項14】

前記密封筐体(40)は、前記制御出口(52)の作動の少なくとも一部の間に作動する攪拌機(54)を備える、請求項13に記載のバルク材料分配装置(20)。

【請求項15】

前記ばらけた材料は茶葉である、請求項13に記載のバルク材料分配装置(20)。

【請求項16】

前記ユーザーインターフェース(81)は準備される茶のオンス数を定める調整を可能とする、請求項15に記載のバルク材料分配装置(20)。

【請求項17】

前記ユーザーインターフェース(81)は、前記筐体(40)内に収容される茶の種類を特定する使用者入力を受け取るように適合される、請求項15に記載のバルク材料分配装置(20)。

【請求項18】

前記ユーザーインターフェース(81)は、分配される茶の種類の使用による選択を可能とし、かつ、2つの選択された茶の種類の各々と関連して準備される茶の選択された量のための2つの異なる重量を保存する、請求項17に記載のバルク材料分配装置(20)。

【請求項19】

前記制御出口(52)は、前記電子制御機器(80)によって作動されないときに、前記コンテナを密閉して密封する、請求項13に記載のバルク材料分配装置(20)。

【請求項20】

使用者による作動によって、ばらけた材料の所定の量を分配するように作動可能なバルク材料分配装置(20)であって、

前記ばらけた材料が分配される容器の配置に適した容器位置を定め、前記容器位置の上方に配置された出口開口を備える外側筐体と、

前記ばらけた材料を保管する密封筐体(40)と、

前記外側筐体に取り付けられ、ばらけた材料の第1の所定の量に関する使用入力を受け取ることができ、かつ、第1の使用者選択可能ボタンと関連して前記使用入力を保存することができるユーザーインターフェース(81)と、

前記密封筐体(40)の下方かつ前記出口開口の上方に配置された測定機構(50)と

を備え、

前記測定機構(50)は、

計量器(64)に取り付けられた箱(62)であって、前記箱(62)に現在収容される前記材料の重量を前記電子制御機器(80)に提供し、前記電子制御機器(80)による作動によって、前記箱(62)内に収容される前記材料を、前記出口開口を通じて放出する箱(62)と、

前記筐体と流体連通し、前記電子制御機器(80)によって作動されたときに、ばらけ

た材料を前記筐体から分配するように適合された制御出口(52)とを備え、

前記制御出口が使用されていないときに、前記制御出口は、シール(55)によって機械的に密封されるように適合され、

前記装置(20)は、前記ユーザーインターフェース(81)を介した前記第1のボタンの使用者の選択を受け取り、それに応じて前記第1の所定の量のばらけた材料を分配するように前記測定機構(50)を作動させる電子制御機器(80)とを備えるバルク材料分配装置(20)。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

したがって、本発明の適切な範囲は、このような改良品のすべてとともに、図面で示されつつ明細書で説明されたものと同等のすべての関連品を包含するように、特許請求の範囲を最も広く解釈することによってのみ決定されるべきである。

以上説明したように、本発明は以下の形態を有する。

【形態1】

ばらけた材料の選択された量を分配するように作動可能なバルク材料分配装置であって、

前記ばらけた材料が分配される容器の配置に適した容器位置を定め、前記容器位置の上方に配置された出口開口を備える外側筐体と、

前記ばらけた材料を保管する密封筐体と、

前記外側筐体に取り付けられたユーザーインターフェースと、

前記ユーザーインターフェースを介して、分配されるばらけた材料の所望の量を特定する使用者選択肢を受け取る電子制御機器と、

前記密封筐体の下方かつ前記出口開口の上方に配置された測定機構とを備え、

前記測定機構は、

計量器に取り付けられた箱であって、前記箱に現在収容される前記材料の重量を前記電子制御機器に提供し、前記電子制御機器による作動によって、前記箱内に収容される前記材料を、前記出口開口を通じて放出する箱と、

前記密封筐体の内部と密封流体連通する入口、および、前記箱内部へと材料を分配するように配置された出口を備える材料通路部と、

前記電子制御機器に接続されたモータによって動力を供給され、前記材料通路部内に配置されて前記箱に前記材料を制御可能に分配する回転可能ねじと、

前記回転可能ねじが作動していないときに前記材料通路部の前記出口を機械的に密封するように適合された密封蓋とを備えるバルク材料分配装置。

【形態2】

前記密封筐体は密閉されて密封される、形態1に記載のバルク材料分配装置。

【形態3】

前記材料通路部は屈曲形状を有する、形態1に記載のバルク材料分配装置。

【形態4】

前記電子制御機器および前記測定機構は、前記外側筐体の内部に配置される、形態2に記載のバルク材料分配装置。

【形態5】

前記密封筐体は、前記材料通路部の作動の少なくとも一部の間に作動する攪拌機を備える、形態4に記載のバルク材料分配装置。

【形態6】

前記ばらけた材料は茶葉である、形態1に記載のバルク材料分配装置。

[形態 7]

前記ユーザーインターフェースは準備される茶の量を定める調整を可能とする、形態 6 に記載のバルク材料分配装置。

[形態 8]

前記ユーザーインターフェースは、分配される茶の種類の利用者による選択を可能とし、かつ、2つの選択された茶の種類の間と関連して準備される茶の選択された量のための2つの異なる重量を保存する、形態 7 に記載のバルク材料分配装置。

[形態 9]

ばらけた茶の利用者により選択された量を、分配装置を用いて分配する方法であって、前記分配装置に配置されたユーザーインターフェースを介して、茶の所望の量を特定する第 1 の利用者入力を受け取るステップと、

前記ユーザーインターフェースを介して、茶の前記所望の量を所定の量だけ上方または下方に調整する第 2 の利用者入力を受け取るステップと、

計量器に取り付けられた箱を有する計量器から重量を受け取るステップと、

前記計量器から受け取られた前記重量が前記所望の量以上となるまで、密封コンテナから前記箱へと茶を移動するステップと、

前記箱から前記分配装置にある出口開口を通じて前記茶を分配するステップとを含む方法。

[形態 10]

前記第 2 の利用者入力は、より濃いまたはより薄い茶を提供する、形態 9 に記載の方法。

[形態 11]

前記第 2 の利用者入力は、上方または下方へと望まれた茶の量を調整する、形態 9 に記載の方法。

[形態 12]

前記移動するステップの後に前記密封コンテナを再び密封するステップをさらに含む、形態 9 に記載の方法。

[形態 13]

ばらけた材料の選択された量を分配するように作動可能なバルク材料分配装置であって、

前記ばらけた材料が分配される容器の配置に適した容器位置を定め、前記容器位置の上方に配置された出口開口を備える外側筐体と、

前記ばらけた材料を保管する筐体と、

前記外側筐体に取り付けられたユーザーインターフェースと、

前記ユーザーインターフェースを介して、分配されるばらけた材料の所望の量を特定する利用者選択肢を受け取る電子制御機器と、

前記密封筐体の下方かつ前記出口開口の上方に配置された測定機構とを備え、

前記測定機構は、

計量器に取り付けられた箱であって、前記箱に現在収容される前記材料の重量を前記電子制御機器に提供し、前記電子制御機器による作動によって、前記箱内に収容される前記材料を、前記出口開口を通じて放出する箱と、

前記筐体と流体連通し、前記電子制御機器によって作動されたときに、ばらけた材料を前記筐体から分配するように適合された制御出口と、

前記電子制御機器に接続されたモータによって動力を供給され、前記制御出口の下方に取り付けられており、前記制御出口からばらけた材料を受け入れ、かつ、前記材料を前記箱に分配するように構成されたコンベヤとを備えるバルク材料分配装置。

[形態 14]

前記密封筐体は、前記材料通路部の作動の少なくとも一部の間に作動する攪拌機を備える、形態 13 に記載のバルク材料分配装置。

[形態 1 5]

前記ばらけた材料は茶葉である、形態 1 3 に記載のバルク材料分配装置。

[形態 1 6]

前記ユーザーインターフェースは準備される茶のオンス数を定める調整を可能とする、形態 1 5 に記載のバルク材料分配装置。

[形態 1 7]

前記ユーザーインターフェースは、前記筐体内に収容される茶の種類を特定する使用者入力を受け取るように適合される、形態 1 5 に記載のバルク材料分配装置。

[形態 1 8]

前記ユーザーインターフェースは、分配される茶の種類の利用者による選択を可能とし、かつ、2つの選択された茶の種類の各々と関連して準備される茶の選択された量のための2つの異なる重量を保存する、形態 1 7 に記載のバルク材料分配装置。

[形態 1 9]

前記制御出口は、前記電子制御機器によって作動されないときに、前記コンテナを密閉して密封する、形態 1 3 に記載のバルク材料分配装置。

[形態 2 0]

使用者による作動によって、ばらけた材料の所定の量を分配するように作動可能なバルク材料分配装置であって、

前記ばらけた材料が分配される容器の配置に適した容器位置を定め、前記容器位置の上方に配置された出口開口を備える外側筐体と、

前記ばらけた材料を保管する筐体と、

前記外側筐体に取り付けられ、ばらけた材料の第 1 の所定の量に関する使用入力を受け取ることができ、かつ、第 1 の利用者選択可能ボタンと関連して前記使用入力を保存することができるユーザーインターフェースと、

前記密封筐体の下方かつ前記出口開口の上方に配置された測定機構とを備え、

前記測定機構は、

計量器に取り付けられた箱であって、前記箱に現在収容される前記材料の重量を前記電子制御機器に提供し、前記電子制御機器による作動によって、前記箱内に収容される前記材料を、前記出口開口を通じて放出する箱と、

前記筐体と流体連通し、前記電子制御機器によって作動されたときに、ばらけた材料を前記筐体から分配するように適合された制御出口と、

前記ユーザーインターフェースを介した前記第 1 のボタンの利用者の選択を受け取り、それに応じて前記第 1 の所定の量のばらけた材料を分配するように前記測定機構を作動させる電子制御機器とを備えるバルク材料分配装置。